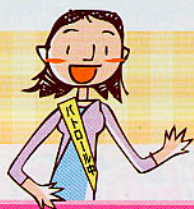


安全・安心 まちづくり 通信



山梨県企画部 県民室県民生活課 甲府市丸の内1-6-1 TEL 055-223-1547

平成20年2月発行



* 私たちの活動を紹介します *

* 富士吉田ふれあい隊

富士吉田市

富士北麓の富士吉田市上吉田地区の冬の朝は、凍てつきそうな寒さである。すっかり雪化粧した富士山が迫って見える。

そんな寒さの中でも、吉田小学校に登校してくる子どもたちは、元気いっぱいである。この子どもたちの集団登校に黄色いコートに身を包んだ大人たちが寄り添っている。「富士吉田ふれあい隊」のメンバーである。

上吉田地区で発生した児童を対象にした声かけ事案をきっかけとして、平成16年9月に地域住民の有志が集まり、防犯パトロール団体「富士吉田ふれあい隊」を結成した。



No. 34
H20 1月18日

ふれあい隊便り



こおつ道路、車はすべてとまれません!

雨の翌朝冷え込むと、路面は凍ってしまいますね。自動車はスケート場
で運転しているような感じで、すぐには止まれません。交差点で青信号
になったからといって、すぐに飛び出しても危険です。交差点で曲がり
きれずに思わぬ方向に突っ込んでくることもあるかもしれません。車の
動きを自分の目で見ていきましょう。また、横断歩道の白線
部は、普通車の舗装部分と違い水がしみ込まないため、凍り氷凍がでさや
すく、予想以上に滑ります。なるべく白線の上をふまないように気をつ
けましょう。
転んだ時にけがをしないように、手をポケットから出しておく、手袋を
する、両手に荷物を持たない、靴子をかぶるなど、こころがけましょう。



雪の翌朝は頭の上にも注意して!

雪の降った翌朝は、足元ばかり見てしまいがちですが、朝日に照らされて電線や木に積もった雪
がまとまって落ちてくることよくあります。立ち止まったり歩道に、頭の上も見るようにしま
しょう。危ないと感じたら、周りのお友達にも教えてあげましょう。

吉田小学校 下校時刻変更のお知らせ

1月29日(火) 14:25 完全下校 2月5日(火) 12:55 完全下校

不審者情報 県警ホームページより <http://www.pref.yamanashi.lg.jp/child/saibu/saibusha.htm>

1月10日現在、富士吉田市内の不審者情報はありません。山梨県警では、地域の犯罪発生情報
などを携帯電話やパソコンに電子メールで配信する「ふじ君安心メール」サービスを始めました。
詳しくは上記ホームページから。

次のいい子の日は2月15日(金)です。吉小校門前 朝8時頃集合
道路の凍結、積雪も予想されます。足元に気をつけてお過ごしください。
雪がふりまったら、ご自宅周辺の道路の雪かきにご協力をお願いします。

お問合せ、通学路の危険箇所、登下校に関するご相談は、
富士吉田ふれあい隊代表 遠藤伸子 まで。

隊員の活動は、朝、登校する子どもたちと一緒に学校まで歩くことから始まる。歩きながらの見守り活動と防犯パトロールである。子どもたちと一緒に校門に入ると、次々と登校してくる子どもたちに対して「おはよう!」、 「班長さん、ごくろうさま。」と声をかける。子どもたちも「おはようございます!」と元気に応える。隊員が声をかける前に、進んであいさつする子どもたちもたくさんいる。全校児童数766人の吉田小学校の朝は、あいさつの声が飛び交い活気がある。

ふれあい隊が「いい子の日」として定めた毎月15日には、隊員たちは朝の活動を終えた後に、ミーティングを開いている。パトロール時に気付いた点や、通学路での危険箇所などを報告し合う。例えば、「スクールゾーンを通る車が多くて危ない」という意見が出たときは、富士吉田警察署員と一緒に、ドライバーに注意を呼びかける活動もした。「毎日パトロールで歩いていて、ゴミがとても多いことに気付いた」との意見が出ると、パトロール時に自主的にゴミ袋を持ってゴミ拾いをする隊員も出てきた。

月に一度、「ふれあい隊便り」を発行し、子どもの保護者や隊員に配るほか、スポーツ施設などの人の集まる場所に掲示する。その内容は、隊の活動報告、地域の不審者情報や交通安全に関する情報などである。また、地域の人々に「子どもの下校を見守るために、下校時間帯に合わせて外に出て、買い物や庭掃除などをしてほしい。」と協力を求めて、吉田小学校の下校時刻を載せている。

毎日の活動を続けて3年5か月が経過し、子どもたちが自分のことを進んで隊員に話してくれるようになった。「**大人から子どもまで 声をかけ合うまち 助け合う 安心安全なまちをつくる**」を隊の目標としている。防犯・交通安全活動やあいさつ運動を通じて、子どもたちと大人がより身近な存在として感じられる地域づくりに力を入れている。

* 社団法人 山梨県自動車整備振興会



平成16年から17年にかけて、全国で子どもが大きな被害にあう事件が発生していた。その頃、(社)山梨県自動車整備振興会は、地域社会への貢献事業を始めようと検討を進めていた。



当会は国の認証を受けた県内860箇所の自動車整備工場で構成されている。県内の小学校は200校余りあるので、一つの小学校区に整備工場が4箇所あることになる。そこで子どもを犯罪の被害から守る取り組みに、会員の整備工場を「子ども110番のお店」として生かすことを考えた。

この事業を開始する平成17年12月、まず、子どもがかけ込んだ場合の対応マニュアルを作成して、全ての整備工場に備えた。

次に、当会のマスコットキャラクターの“てんけんくん”を使って、子どもたちにPR活動を始めた。終業式などの全校児童が集まる機会に小学校を訪れ、職員が“てんけんくん”のぬいぐるみを着て児童の前に出る。大きな歓声上がり、児童たちの興味がわいたところで、“てんけんくん”が載っている看板のある整備工場は「子ども110番のお店」としてPRして、作成したチラシやポスターを配っている。

また、山梨県警察に協力をお願いして、このPR活動の中で、児童への防犯指導も行っている。

授業スケジュールの調整がつかず、全校児童を集める時間が取れないが、「子ども110番のお店」のPRをしてほしいと学校から依頼があった場合は、朝、校門前で“てんけんくん”がチラシを配りながら児童にPRする活動も行っている。

* ながつかパトロール隊からの声

～山梨県地域活性化促進事業費補助金の支援を受けて～

甲斐市

私たち「ながつかパトロール隊」は、自分たちのまちを守っていくために、それまで個別に防犯活動を行っていた地元消防団や老人クラブ、PTA、育成会などを統合して発足した自主防犯組織です。

活動を始めると、地元である長塚地区の回覧板で新たな隊員を募りました。その結果、約150人が集まり、平成19年10月10日には、甲斐市立敷島南小学校で出発式を行い、パトロール活動をスタートさせました。

私たちの活動は、通学路における児童の見守り活動や、早朝や夜間の徒歩によるパトロール、隊員の自家用車でのパトロールを中心に行っています。約150人分のパトロール用ベストや帽子、自家用車に装着する青色回転灯を購入する際には、費用の工面に苦労しましたが、山梨県地域活性化促進事業費補助金の交付を受けることができたため、無事に揃えることができました。

私たちの活動はまだ始まったばかりです。今後も県や警察と連携を取りながら、効果的な防犯活動をしていきたいと思っています。

